

令和2年TOKYO交通安全キャンペーン

12月1日(火)～7日(月)

世界一の交通安全都市TOKYOを目指して

市民一人ひとりに交通安全意識の普及・浸透を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、年末期における交通事故および渋滞の防止を図ります。

重点項目として、子どもと高齢者の安全な通行の確保、飲酒運転の根絶および高齢運転者等の交通事故防止、自転車の交通事故防止、二輪車の交通事故防止、違法駐車対策の推進に取り組めます。

■自転車安全利用五則

自転車も交通事故を起こせば刑事上、民事上の責任が問われます。正し

いルールを知り、安全に自転車を利用しましょう。

- ▷自転車は車道が原則、歩道は例外
▷車道は左側を通行
▷歩道は歩行者優先で、車道寄りを徐行
▷安全ルールを守る(飲酒運転・二人乗り・並進の禁止、夜間はライトを点灯、交差点での信号遵守と一時停止・安全確認)
▷子どもはヘルメットを着用
問 交通対策課交通対策係 (☎042-387-9850)

子ども子育て
子ども体験講座
親子で星空観察
室内でプラネタリウムを見たり、望遠鏡を使って星空を観察します。

赤ちゃんのためのおたのしみ会
12月18日(金) 午前10時～10時30分
公民館東分館対市内在住・在勤・在学の0～2歳児と保護者定10組(申込順)
12月2日から、電話または直接、図書館東分室(☎042-383-4550)へ

ファミリー・サポート・センター会員説明会
登録を希望する方に、流れや仕組みを説明します。
12月19日(土) 午前10時～11時30分
所 上之原会館対▽依頼会員▽市内在住で、原則生後57日～小学生の子どもと同居している保護者▽協力会員

子どもの笑顔をみんまで守る
虐待かな?と思ったら(通告・相談)
連絡は匿名で行うことも可能です。
12月16日(土)、23日(土) 午前10時～午後1時
所 保健センター
内 妊娠、出産、育児の話、沐浴実習等対おむね16～27週の妊婦とパートナーの方(妊娠週数は目安です)定各日18組(申込順。初産婦の方優先)
12月1日から、電話で健康課へ

健康ガイド
健康課(保健センター)
☎042-321-1240
〒184-0015
貫井北町5-18-18

薬物乱用防止ポスター・標語展示会
市内の中学生が作成した薬物乱用防止をテーマとするポスターおよび標語(入賞作品)の展示会を開催します。
12月16日(水)～21日(月) 午前9時～午後10時(16日は午後9時)
12月1日から、電話で健康課へ

愛の献血
12月6日(日) 午前10時～11時30分、午後1時～4時
所 JR武蔵小金井駅南口コミュニティ広場(フェスティバルコート)
対 16～64歳の方※60～64歳に献血経験のある方は、69歳まで献血することが出来ます
美施団 東京都赤十字血液センター 問 健康課

図書館東分室工作会
お正月かざりをつくろう!
12月26日(土) 午後2時～3時30分
所 公民館東分館対市内在住の小学生定10人(申込順)
12月2日から、電話または直接、図書館東分室(☎042-383-4550)へ

子ども家庭支援センター
カルガモ教室
1月27日、2月24日、3月24日
いずれも水曜日 午前10時～11時30分(全3回)
所 保健センター
内 親子のふれあい遊び

冒険遊び場(プレーパーク)からのお知らせ
市では子どもが自由な発想で自由に遊べる冒険遊び場(プレーパーク)事業を実施しています。
【けとおがわプレーパーク】
毎週水曜・木曜・土曜日
※要事前予約
所 東京学芸大学プレイパーク
毎週金曜日
所 都立武蔵野公園くじら山
◇ 共通 ◇
12月10日(火)～12月11日(水)
※当日の開催状況等詳細については、同事業ホームページ(http://www.kogan

離乳食教室
2回食への進め方
1月21日(木) 午後2時45分～3時45分
対 おむね6～7か月児の保護者
3回食への進め方
1月8日(金) 午後1時30分～2時45分
対 おむね8～11か月児の保護者
◇ 共通 ◇
所 保健センター
内 管理栄養士・歯科衛生士による講義等
定 各日9人(申込順)
他 母子同室です
12月1日から、電話で健康課へ

むし歯予防教室
1月7日～21日の毎週木曜
午前9時45分から、10時15分から
所 保健センター
内 歯磨き練習、栄養講話等
※希望者は歯科健診も受けることができます
対 平成30年6月生ま

健康メモ
骨粗鬆症
骨粗鬆症は、骨が弱くなると骨折をきたしやすくなった病態です。高齢者や女性に起こりやすく、ちょっと転んだ程度で、背骨や太ももの付け根や手首や肩などを骨折することがあります。
国民生活基礎調査によると、介護が必要となった主な原因のうち、運動器疾患では、骨折・転倒によるものが、関節疾患等があげられます。
骨の強度を保つためには、食事と運動が大事です。カルシウムやビタミンDを多く含んだ食品を食べるよう心掛けましょう。カルシウムは、乳製品や小魚等に多く含まれます。ビタミンDはカルシウムの吸収を助けます。運動で骨に刺激が与えられると、骨を作る細胞が活発に

骨粗鬆症
骨粗鬆症は、骨が弱くなると骨折をきたしやすくなった病態です。高齢者や女性に起こりやすく、ちょっと転んだ程度で、背骨や太ももの付け根や手首や肩などを骨折することがあります。
国民生活基礎調査によると、介護が必要となった主な原因のうち、運動器疾患では、骨折・転倒によるものが、関節疾患等があげられます。
骨の強度を保つためには、食事と運動が大事です。カルシウムやビタミンDを多く含んだ食品を食べるよう心掛けましょう。カルシウムは、乳製品や小魚等に多く含まれます。ビタミンDはカルシウムの吸収を助けます。運動で骨に刺激が与えられると、骨を作る細胞が活発に